

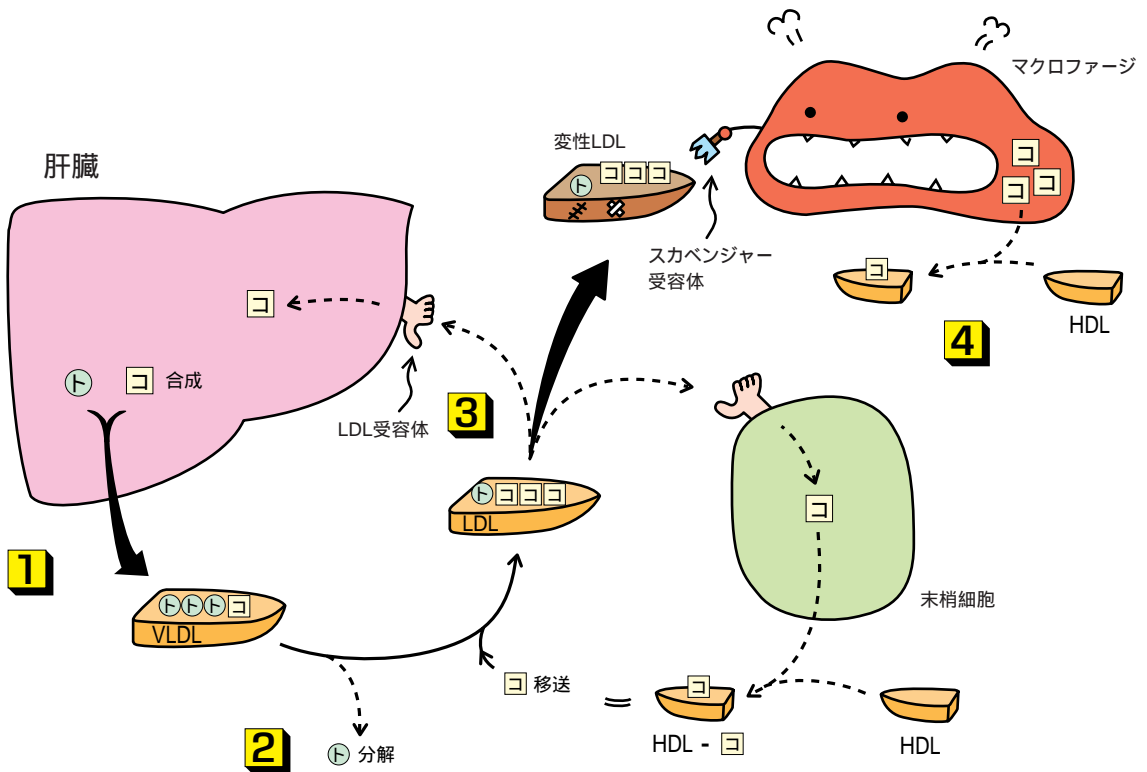
第4回

高脂血症と戦う作戦

萩原 清文*作

多田 富雄**監修

高脂血症は、いわば脂質を運搬するリポ蛋白の代謝異常である。つまりリポ蛋白の細胞（特に肝細胞）からの放出が、細胞への取り込みよりも上まわった状態である。



- 1 VLDL産生の増加
 - 2 トリグリセライド分解の低下
- その結果、VLDL(LDL)が増加する。

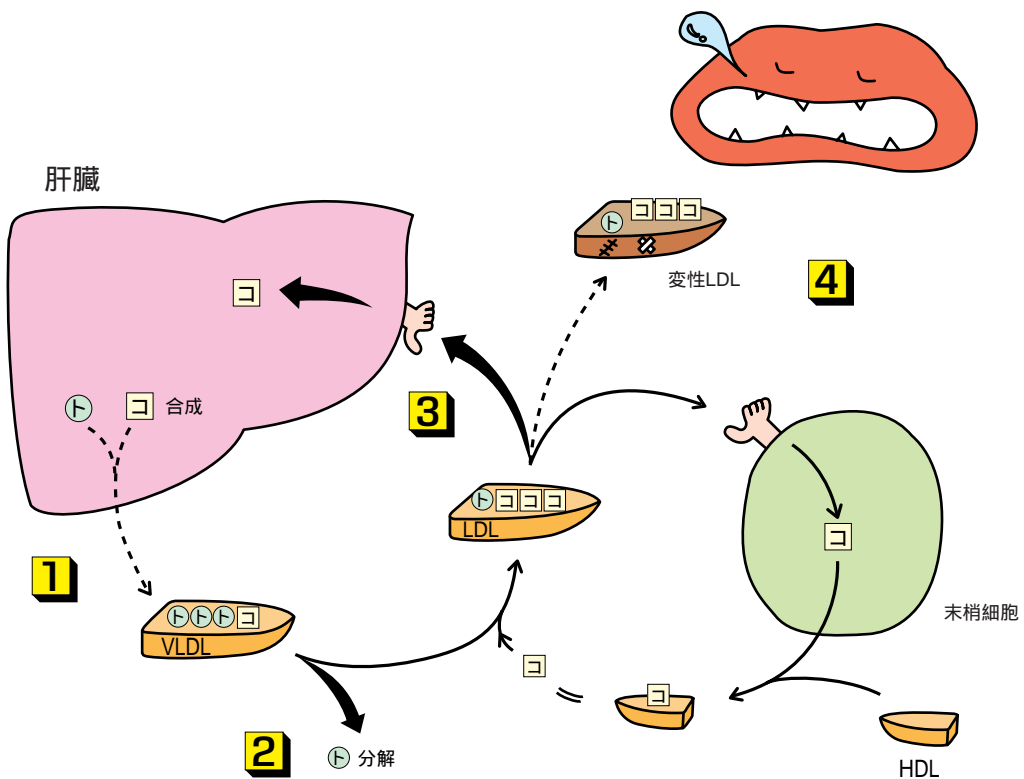
3 LDL取り込みの低下 その結果、変性LDLが増加する。

4 HDLが少ないとマクロファージ内のコレステロールは貯まるばかり。

けなげなマクロファージはそれでも変性LDLを食べてくれる(やがて破裂してしまうのだが...)。

* 東京大学医学部アレルギー・リウマチ内科
 ** 東京理科大学生命科学研究所々長

ならば、リポ蛋白の放出を抑え、取り込みを促進させてやろう、というのが薬物療法の基本的戦略である。もちろん、食事療法と運動療法の重要性は言うまでもない。



- 1 VLDL産生抑制
 - 2 トリグリセライド分解促進
 - 3 LDL取り込み促進
 - 4 LDLの変性抑制
- by クロフィブラート
- by {
 HMGCoA還元酵素阻害剤
 陰イオン交換樹脂
 }
- by プロブコール

Ⓣ トリグリセライド
 ☐ コレステロール